



Chiba Kogyo Bank

REPORT 2016

中間ディスクロージャー誌

平成29年3月期 営業のご報告

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

平成28年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等を中間ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いです。

平成28年度におけるわが国経済は、個人消費の本格的な回復には至っていないものの、雇用・所得環境の改善が続き、全体として景気は底堅く推移しました。当行グループが営業の基盤とする千葉県経済につきましても、雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調が続いております。

このような経営環境のなか、当行は平成28年4月より新たな中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2019」をスタートさせ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

地域のお客さまの資金ニーズにお応えし、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートした結果、住宅ローンや中小企業向け貸出は順調に増加しております。

2017(平成29)年3月、当行はおかげさまで創立65周年を迎えます。これもひとえに、お取引先、株主、地域の皆さまからの永年にわたるご愛顧によるものと役員一同、心より感謝申し上げます。

これまで当行が皆さまと歩んでまいりました歴史と経験を財産に、より一段と地域とお客さまのお役にたち、ともに成長できるよう全行一丸となって「コンサルティング・バンクの確立」実現に取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月



取締役頭取・CEO

青柳 俊一

目次

Contents

ごあいさつ	1	お客さまのために	
中期経営計画の概要	2	より便利に、安心して	
業績のご報告(単体)	3	ご利用いただくために	13
地域とともに		さらに快適で	
地域密着型金融の推進に関する		機能的な店舗へ	14
基本的な考え方	6	「親切」の心で	
中小企業の経営の改善および		CSRの取組み	
地域の活性化のための取組み状況	6	地域社会・地域経済への貢献	15
ダイバーシティ推進に向けた			
取組み	12		

プロフィール

Profile

名称	株式会社千葉興業銀行 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
本店所在地	千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
設立年月日	昭和27年1月18日 (営業開始:昭和27年3月3日)
資本金	621億2,053万3,949円
店舗数	73店舗(県内72店舗、都内1店舗)
従業員数	1,376名

(平成28年9月30日現在)

中期経営計画の概要

長期経営
ビジョン

選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない“絶対的存在感のある銀行”

コンサルティング・バンクの確立〈3年後〉

平成28-30年度 新中計『コンサルティング考動プロジェクト2019』

コア戦略

お客さま第一の
“コンサルティング考動の実践”

営業基盤強化	人材・組織基盤強化
<p>■顧客基盤の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中核取引先の拡大 ●取引先の間口拡大 ●顧客セグメントに即した提案 <p>■事業性評価に基づく地元企業の成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元中小企業の経営力強化をサポート ●成長分野(医療・介護、アグリ・フード、観光等)への取組み強化 ●新市場創出につながる中小企業支援強化 ●事業性評価取組みの強化 <p>■お客さまニーズに応える店舗戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック営業体制導入 ●成長エリアへの新店舗出店 	<p>■組織力(本部体制)の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「営業本部制」導入→戦略の展開スピード向上 ●コンサルティングのための本部サポート強化 ●地方創生の推進体制強化 <p>■人材育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンサルティング人材の育成 ●実態把握力、与信対応力の強化 <p>■外部連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門機関との連携強化 ●専門機関への人材派遣

平成28年4月～10月

「ブロック営業」体制を構築	各店舗を地域特性にあわせ、リーディングバンク、リテールバンク等に再構築し、18のブロック営業体制とした	それぞれの地域(ブロック)特性を踏まえて営業店の役割を再構築し、法人・個人各々のお客さまのニーズ対応力を増強
「営業本部制」を導入	機動的な推進体制構築のため「法人戦略部」「個人戦略部」「ローン戦略部」「支店推進部」を設置	営業企画・戦略実行・推進の実効性および本部内の連動性を高め、左記の4部を統括する営業本部を設置
本部サポート強化	コンサルティング企画担当とコンサルタント支援室「ブロック担当」を大幅増員	営業店と本部をつなぎ、一体化を強めることで課題解決となるソリューション機能の充実と多様化を実現
	本部コンサルタント支援室「ブロック担当」を各ブロック内に常駐	営業店におけるコンサルティング考動の推進・支援
「地方創生」推進体制を強化	地方創生推進会議の議長を頭取とし、下部組織として「地方創生部会」「事業性評価部会」を新設	2部会の設置により、スピード感と柔軟性を高め、地方創生推進を拡大、加速化
「コンサルティング部」新設	リーディングバンク(ブロック幹事店)の一部に「コンサルティング部」を設置	これまで以上に地域・お客さまとの関わりを深め、地域特性を踏まえた質の高い金融サービスを提供

業績のご報告(単体)

平成28年9月期の業績につきましては、預金・貸出金ともに順調に増加しました。特に貸出金残高につきましては、当行が持つコンサルティング機能を発揮し、地域のお客さまの資金ニーズに積極的に応えてまいりました結果、中小企業向け、個人向け貸出ともに増加しております。



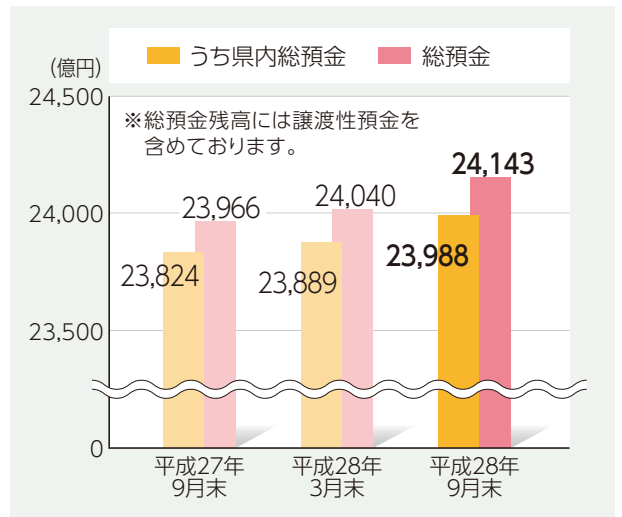
平成28年4月、
コンサルティング考勤プロジェクト2019

START

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

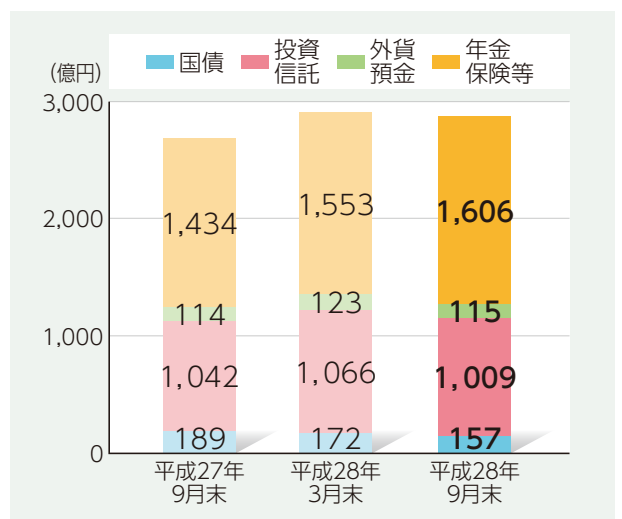
総預金残高

総預金残高は、個人預金の増加などから前年同期比176億円増加し、2兆4,143億円となりました。



預り資産

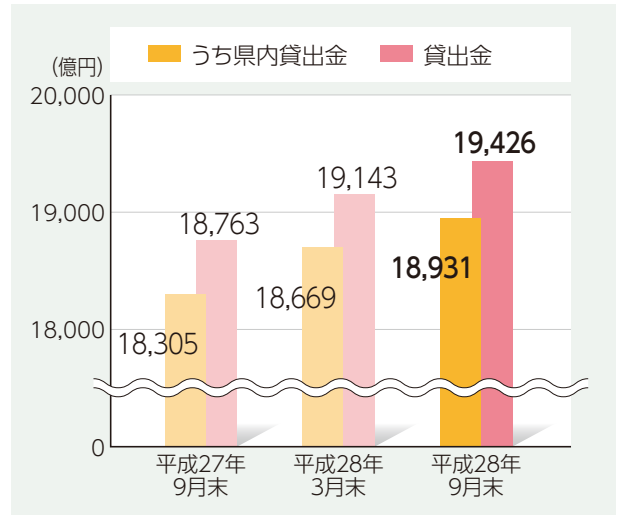
マーケット環境が不安定であったことから資産運用商品は、一般的に伸び悩みましたが、年金保険等は前年同期比171億円増加の1,606億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

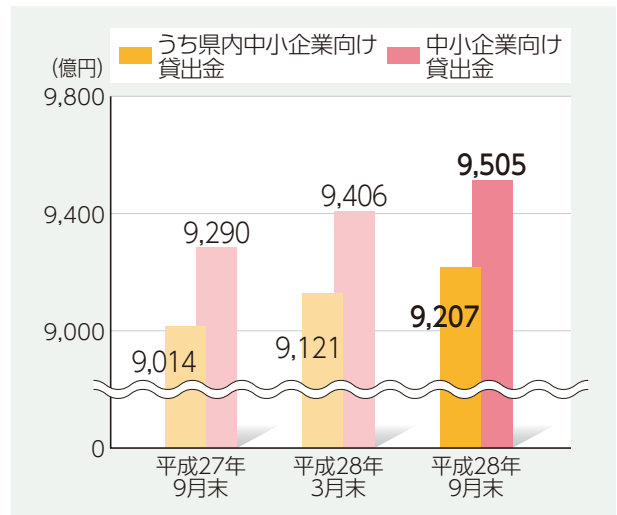
貸出金残高

貸出金残高は、前年同期比662億円と大幅に増加し、1兆9,426億円となりました。そのほとんどを県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。



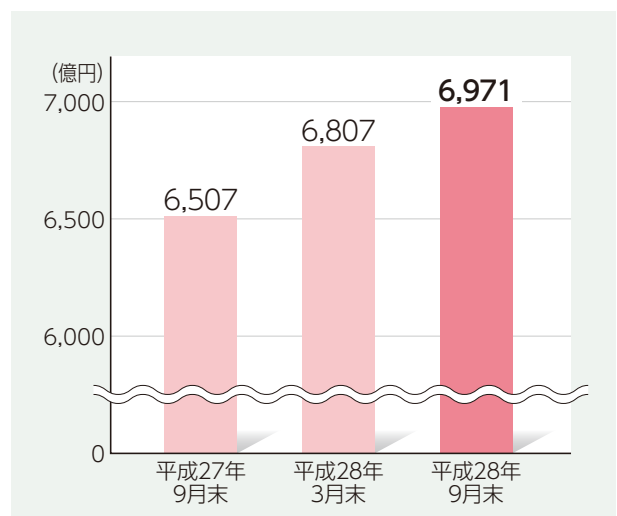
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比215億円増加し、9,505億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前年同期比464億円増加し、6,971億円となりました。



コア業務純益・経常利益

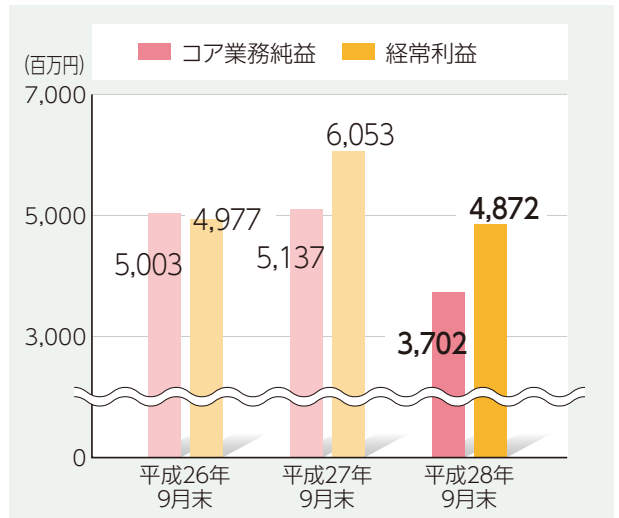
貸出金残高は順調に増加したものの、利回りが低下したため、資金利益は減少しました。

これにより、コア業務純益は、前年同期比14億34百万円減少し、37億2百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比11億81百万円減少し、48億72百万円となりました。

コア業務純益

$$\text{コア業務純益} = \text{一般貸倒引当金繰入前の業務純益} - \text{国債等債券関係損益}$$



実質業務純益・中間純利益・ROE (株主資本利益率)

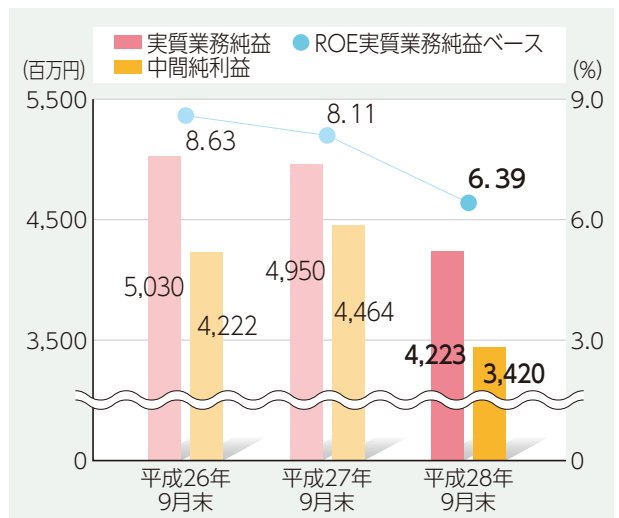
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、前年同期比7億27百万円減少し、42億23百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比10億43百万円減少の34億20百万円となりました。

その結果、ROE(株主資本利益率)は、実質業務純益ベースで前年同期比1.72ポイントの減少となりました。

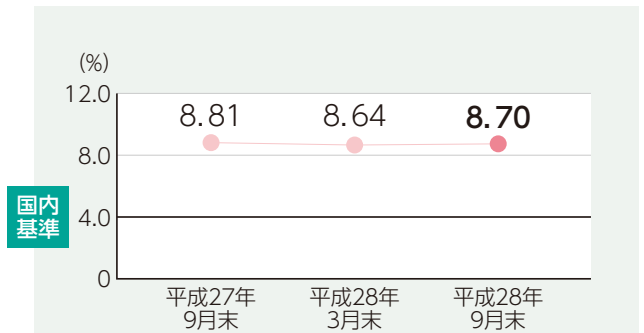
ROE(株主資本利益率):実質業務純益ベース

ROE(株主資本利益率)=実質業務純益÷純資産の部合計平残×100
値が大きいほど株式資本の「収益性」が高いことを示しています。



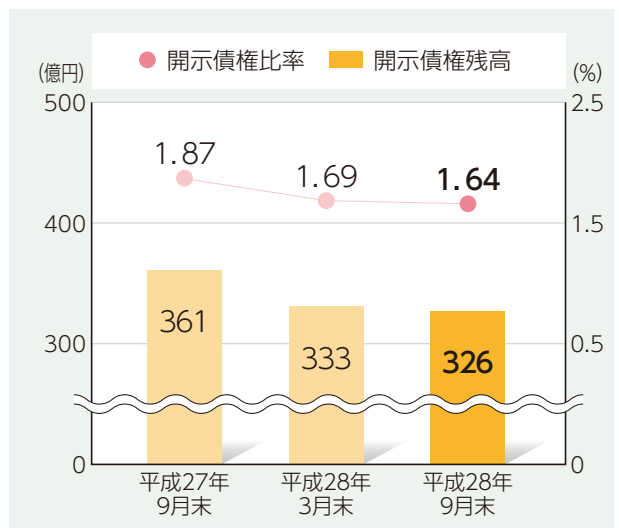
自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成28年3月末比0.06ポイント上昇し、8.70%となりました。



開示債権比率(金融再生法基準)

お取引先企業と強固なリレーションを構築し、課題解決への支援に取組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は、平成28年3月末比0.05ポイント減少の1.64%、正常債権を除いた「開示債権」の残高は、平成28年3月末比6億円減少の326億円となりました。



地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

企業理念 地域とともに お客さまのために「親切」の心で

この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的に応え、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立ち、全行的取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力、財務健全性の向上につなげてまいります。

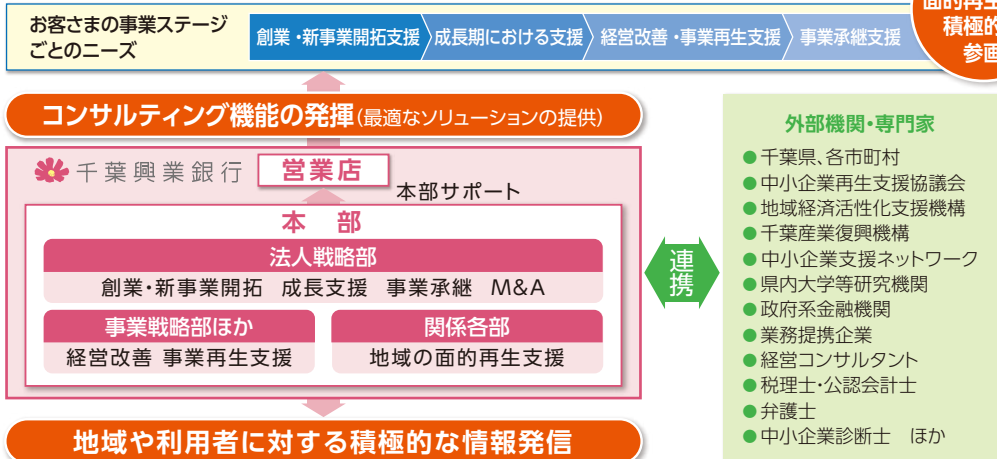
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

1 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等のお客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

2 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮できる態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



3 お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮 (中小企業の経営支援に関する取組み状況)

お取引先企業の事業ステージの見極めと最適なソリューションの提供に努めております。

(1) 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

対応方針

- ・公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立上げ時の資金需要へ積極的にお応えしております。
- ・産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

平成28年4月～平成28年9月における取組み実績

- 千葉県主催クラウドファンディング活用検討会参加 (28年6月・7月)
- ものづくり補助金申請に係るご相談対応14件
- ベンチャーカップ千葉審査会参加 (28年9月)

中小企業育成支援

千葉元気印企業大賞

フジサンケイ ビジネスアイとの共催で、活力溢れる経営で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰することを通じて地域企業の発展を支援しております。



個人事業主向け融資の拡充

ちば興銀ビジネスローン「ALLDAY」【平成28年12月】

所得証明書・担保・保証人不要の個人事業主さま専用の事業資金（運転資金・設備資金※借換資金を含む）を対象としたローンの取扱いを開始いたしました。WEBからもお申込みが可能です。

ご融資金額は最大500万円、ご融資期間は最長10年です。

※商品詳細につきましては、当行ホームページをご覧ください。



新しい資金調達手段の提供

READYFORと業務提携【平成28年11月】

READYFOR株式会社の運営するクラウドファンディングサイト「Readyfor」は、これまでに多くのプロジェクトの資金調達実績があります。当行はお客さまに、新たな資金調達手法であるクラウドファンディングをご紹介します、事業成長の機会創出、販路拡大等の支援を行ってまいります。

(2) 成長段階にある企業に対する支援

対応方針

- ・ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等積極的に支援しております。
- ・中小企業基盤整備機構等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートを行っております。

平成28年4月～平成28年9月における取組み実績

- 商工中金上野支店、日本政策金融公庫と連携し、医薬品原料事業の本格参入に向けたお取引先の新工場建設資金として協調融資実行（28年6月）
- 取引先のインバウンド対策を目的としてアクリーティブ（株）との業務提携による「外貨決済両替サービス」の提供開始（28年7月）
- SBIマネープラザ（株）とのビジネスマッチング契約を拡充し、同社組成の「オペレーティングリース」の取扱いを開始（28年9月）
- 日本エマージェンシーアシスタンス（株）と業務提携契約を締結し、海外医療アシスタンスサービス等による海外進出サポート体制を強化（28年9月）
- 千葉県よろず支援拠点との共催セミナーを3回開催

医療・介護分野への支援

「診療報酬改定セミナー」を開催【平成28年4月】

当行が提携している医療経営コンサルティングを営む株式会社ネクサスと協力し、「診療報酬改定セミナー」を当行佐原支店にて開催いたしました。

平日のセミナーへのご参加が難しい医療機関経営者の皆さまに参加いただけるよう、日曜日の開催とし、平成28年4月に行われた診療報酬改定の方向性と改定後の成長戦略について講演いただきました。

アグリ・フードビジネスへの支援

千葉県の特産品「落花生」で農業を再生！商品化！【平成28年4月】

千葉県産落花生の生産拡大と品質向上を通して、地域の農業再生を行うため、取引先と連携し、「落花生の契約栽培プロジェクト」を開始しました。

当初計画した落花生収穫量を達成し、地元パティシエの協力を得て、千葉県産落花生を使った第1弾商品の開発・販路拡大を支援いたしました。



担保・保証人に必要以上に依存しない融資の提供

当行では、資材・商品在庫・売掛債権などのモニタリングや、特許庁が促進する「知財ビジネス評価書」を活用した知的財産の「見える化」等をおとして、中小企業の事業性や将来性を評価し、円滑な融資につなげる対応を行っております。

海外進出支援

「平成28年度海外ビジネス戦略推進支援事業」(中小機構)への申請サポートにより、支援先の2案件が採択【平成28年8月】

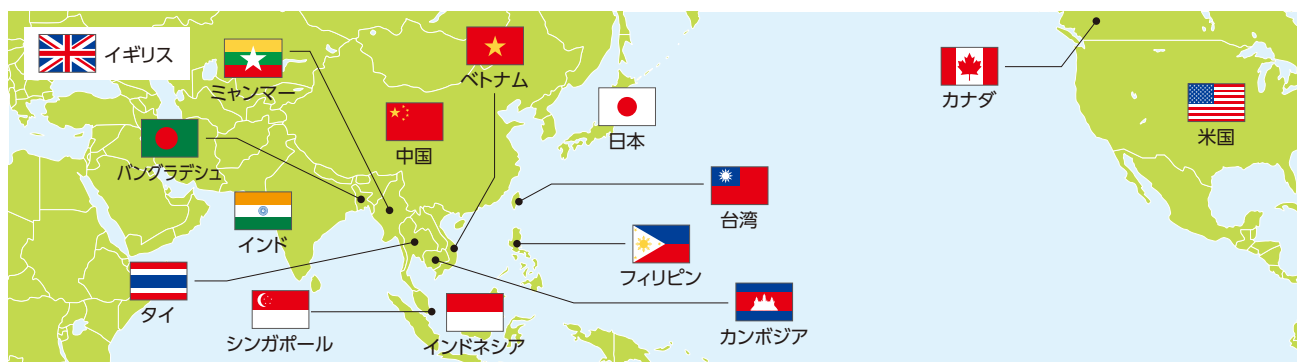
「海外展開・事業承継支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」の締結に基づく取組みの一環として、独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)より公募された「平成28年度海外ビジネス戦略推進支援事業」への県内企業の申請サポートを行い、2案件が採択されました。

外部専門家 × ちば興銀

当行は、平成26年以降、毎年「認定支援機関向け海外展開支援研修実践編／事業計画策定支援・財務管理編」(主催:中小機構)に専門行員を派遣し、海外での事業展開実現に向けたサポートを行っております。

当行は
専門性の高い
支援を行うことのできる
経営革新等支援機関
に認定されて
います

外部機関との連携等により、海外の投資環境に関する情報提供、海外事業展開や販路拡大を検討している企業の皆さまに向けて、専門家やコンサルタントの紹介、ビジネスセミナー等を開催しております。また、海外事業展開のためのご融資や債務保証などのご相談にも応じております。



海外提携銀行

BDOユニバンク(フィリピン)、
ベトコムバンク(ベトナム)、
インドステイトバンク(インド)、
中国工商銀行(中国)

提携先ネットワーク

フォーバル	ベトナム、インドネシア、ミャンマー、カンボジア
プロネクサス	台湾、タイ、シンガポール、インドネシア、フィリピン、中国、ベトナム
芙蓉総合リース	中国、香港、シンガポール、米国、カナダ
日本エマージェンシーアシスタンス	米国、イギリス、シンガポール、タイ、フランス、中国、バングラデシュ

(3) 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

対応方針

- ・経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取組んでおります。
- ・経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取り組んでおります。

平成28年4月～平成28年9月における取組み実績

■ 経営改善支援先219先を中心に経営改善支援・事業再生支援への積極的な取組み

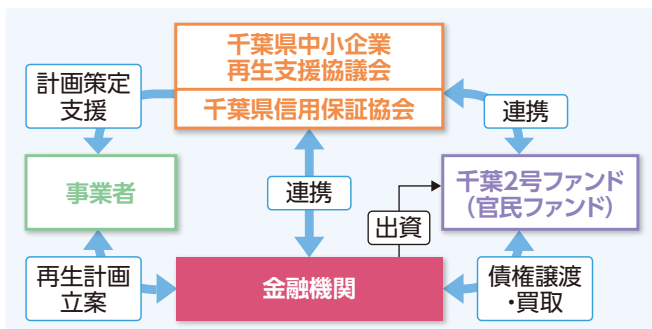
- ・「中小企業再生支援協議会」2次対応決定先：11先
- ・認定支援機関申請先：21先
- ・経営改善計画策定件数：36件
- ・「東日本大震災事業者再生支援機構」買取り実施先：1先
- ・経営改善支援による債務者区分ランクアップ先：6先
- ・営業課長・コンサルティング課長研修会開催：67名参加

再生ファンドを活用した事業再生支援

千葉県中小企業再生支援協議会との連携

千葉県中小企業再生支援協議会と連携し、県内のプレス加工業者に対して事業再生支援を行いました。

当行は、事業者の再生に必要な過剰債務の免除に応じるとともに、「経営者保証ガイドライン」に準じた代表者の保証債務についてもファンドを通じて免除する計画を立案。企業再生および保証人の生活再建の両面を踏まえた支援を行いました。



(4) 事業承継が必要な企業に対する支援

対応方針

- ・事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ・必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ・資産の承継以外にも、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

平成28年4月～平成28年9月における取組み実績

- 事業承継育成支援強化を目的とし、日本プライベートエクイティ(株)との業務提携を開始(28年5月)
- ちば興銀「経営塾」第6期生によるベトナム視察において、現地企業訪問、マーケティング調査等を実施(28年5月)
- 事業承継・M&Aセミナーを開催し150人が参加(28年6月)
- 事業承継・相続分野の取組強化を目的に信託代理店業務として、(株)朝日信託の「個人信託」の取扱を開始(28年9月)
- 事業承継解決策の一つであるM&Aへの取組み強化を目的に(株)日本経営エスディサポートとの業務提携を開始(28年9月)

次世代経営者育成支援

ちば興銀「経営塾」の運営

ちば興銀「経営塾」は地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に行い、海外視察研修なども実施しております。(第6期生:36名、平成28年4月以降実績:講座7回)



第6期生修了式 記念講演
千葉ロッテマリーンズ
スペシャルアドバイザー 里崎智也氏



事業継続支援

「M&Aシニアエキスパート」県内地銀最多 × 「情報開発大賞」受賞！【平成28年5月・7月】

「M&Aシニアエキスパート」^(※)認定試験において、営業店で活躍する支店長を中心に10名が合格し、当行在籍の有資格者数が13名となりました。

これは、県内地銀では最多となっております。

当行は、地元企業の事業承継・事業拡大に対する課題解決策のひとつとして「M&Aコンサルティング業務」の強化を掲げており、本部内にはM&A専担者を配置し支援体制の強化を図っております。

こうした取組みにより、平成28年5月には、株式会社日本M&Aセンターより「第四回バンクオブザイヤー表彰式」において、「情報開発大賞」を受賞いたしました。



(※)「M&Aシニアエキスパート」

一般社団法人 金融財政事情研究会が、講習および試験を通じて認定する制度で、「事業承継・M&Aエキスパート」の上級資格となる認定資格です。とりわけ事業承継対策の重要な選択肢のひとつであるM&Aに精通した人材の養成を図ることにより、中小・零細企業の経営の安定・持続的成長、経営者・従業員の生活基盤の安定、ひいては日本経済の持続的発展・成長に資することを目的としています。

事業承継に係る資金調達手段の提供

事業承継サポート保証「みらい」の実行【平成28年4月】

千葉県信用保証協会(以下、保証協会)の事業承継サポート保証「みらい」を活用してお取引先企業の事業承継支援を実行いたしました。

本事業は、中小企業基盤整備機構および保証協会と県内11金融機関が、平成27年10月に締結した「海外展開・事業承継支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」に基づくもので、保証協会の本商品取扱いは、覚書締結金融機関で初の案件となります。

4 地域の面的再生への積極的な参画 (地域の活性化に関する取組み状況)

対応方針

・「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化につなげております。
 ・地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

平成28年4月～平成28年9月における取組み実績

- 「標準化活用支援パートナーシップ制度」への参加。「標準化」を活用した新市場の創造など、中小企業支援を強化(28年5月)
- 医療・介護分野の支援体制強化を目的に、芙蓉総合リース(株)とのビジネスマッチング提携を拡大。「介護報酬債権流動化サービス」の提案業務で提携(28年7月)
- 医療機関向けのM&A支援業務の強化を目的とし、日本経営グループのメンバーファームである(株)日本経営エスディサポートとの間で業務提携契約を締結(28年9月)
- 太陽光発電設備建設取組み支援：融資実行額2,140百万円(17件)

「地方創生」推進への取組み

地域発展・活性化支援に関する相互連携協定の締結(平成27年9月以降)

地元自治体や各種機関と、地域発展・活性化のための連携協定を締結し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供等を行っております。

平成27年	9月	千葉県商工会連合会(県下40の商工会)、 柏市、白井市、千葉県税理士会
	11月	匝瑳市、御宿町
平成28年	12月	千葉県商工会議所連合会(県下21の商工会議所)
	3月	君津市*
	4月	市川市
	5月	流山市
	11月	東金市

※平成27年8月までに11の市、商工会議所と連携協定を締結しています。

※君津市とはこれまでの連携協定の範囲を拡大した協定を締結いたしました。

昨年度、各自治体が作成した「地方版総合戦略」は、今年度具体的な実行段階へと移行しております。
 “産官学金労言”が各々の知見を生かし、千葉県の持続的な発展に向けて、より連携していく必要があると考えます。
 引続き当行は、地元自治体や教育機関、お取引先企業の皆さまと緊密に連携をとりながら、地方創生・地域活性化に向けた取組みをさらに展開してまいります。



産 × 学 × ちば興銀

「千産千商2016 in 聖徳祭」開催【平成28年11月】

今回で7回目となる聖徳大学短期大学部との産学連携協定に基づく活動のひとつで、今回はお取引先企業のマッシュルームを使用した弁当を開発・販売

出張道の駅として、南房総市「和田浦WA・O!」と鋸南町「保田小」が出演



官 × ちば興銀

千葉市旅客船ターミナル等複合施設「ケースハーバー」の建築資金を協調融資【平成28年4月】

「千葉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策である「東京湾ツーリズム旅客船運航」の拠点となる施設を金融でサポート



学 × ちば興銀

亀田医療大学と「相互協力連携に関する協定書」を締結【平成28年9月】

各々が有する情報やノウハウ等を用いて地域社会の発展に貢献



産 × 官 × ちば興銀

県内初の車中泊専用駐車場「RVパーク」整備に協力【平成28年7月】

南房総市に事業提案を行い、市は国の地方創生加速化交付金を利用して駐車場を整備
日本RV協会から県内初の「RVパーク」に認定



産 × 学 × ちば興銀

「國學院大学ホームカミングデー院友会支部物産展」に協力【平成28年10月】

いすみ市、勝浦市、鴨川市や内房地域の名産品と小湊鉄道やいすみ鉄道のグッズなどを出展
観光案内やふるさと納税のパンフレットも配置し、情報を発信



事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	平成27年度実績	平成28年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,378	737
保証契約を変更した件数	11	1
保証契約を解除した件数	3	4

ダイバーシティ推進に向けた取組み

当行は、ダイバーシティの取組みを推進し、多様な人材が能力を發揮できる環境づくりに努めております。当行のさまざまな取組みが評価され、以下の表彰・認定を受けました。

パートタイム労働者の活躍推進

「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」優良賞を受賞！

厚生労働省から、平成28年度「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」において「優良賞(雇用均等・児童家庭局長優良賞)」を受賞いたしました。

本表彰制度は、厚生労働省が平成27年度に創設したもので、他の模範となるパートタイム労働者の活躍促進に取組んでいる企業などを表彰し、これを周知することで、企業の取組みを促進することを目的としています。

評価された当行の取組み内容等は以下のとおりです。



取組内容

1 スタッフ*全員に行員と同様の評価項目による人事評価を実施、計画的に人材を育成

正社員である行員と同様の評価項目である知識や理解力といった職務行動と執務態度について評価を実施し、結果を昇給等に反映します。また、入行時に職種別のスタッフ育成プログラムを本人に渡し、業務を習得するために必要なスキルや受講すべき研修を示し、業務習得状況を確認しながら、次に受講すべき研修をアドバイスするなど計画的な人材育成を実施しています。

2 積極的に行員に転換し、幹部職員へ登用

毎年1回、行員への転換試験を実施しています。転換にあたって必要となる資格取得についても、テキストの無料付与、勉強会の実施、初回受験費用の支給などの支援を実施しています。行員への転換後の昇進の上限はなく、転換後、課長や課長代理に昇進しています。

取組の成果

スタッフの比率が増えた2000年から人事評価の実施や育成プログラムの導入などを行ってきました。制度化により、業務の「見える化」が進み、必要な能力も明確になったことから、スタッフのモチベーションも高まり、行員以上の成績を上げるスタッフもあらわれるなど、業績向上にもつながっています。

※「スタッフ」とは、当行におけるパートタイム労働者の呼称です。行員と同じ職場で働く「仲間」という意味があります。

女性の活躍推進

女性活躍推進法認定マーク「えるぼし」を取得！

平成28年4月27日付で厚生労働大臣より女性活躍推進法第9条に基づく「基準適合一般事業主」の認定を受け、認定マーク(愛称:えるぼし)を取得いたしました。

当行は、同法が定める5つの評価項目すべての基準を満たしていることから、**最も高い評価である「3段階目」の認定を千葉県で初めて取得**しております。



【認定制度について】

- 女性活躍推進法に基づき定められた5つの認定基準の達成状況により、女性の活躍推進に関する取組みが優良な企業は、厚生労働大臣の認定を受けることができます。
- 評価項目を満たす項目数に応じて、取得できる認定段階が3段階あります。
(評価項目:採用、継続就業、労働時間等の働き方、管理職比率、多様なキャリアコース)

従業員の仕事と育児の両立を支援

次世代認定マーク「くるみん」3回目の取得

当行では、従業員が仕事と育児を両立できるよう支援するための環境整備・各種施策等の実施を、従業員に対するCSR(企業の社会的責任)の一環と位置づけ、積極的に取組んでおります。

次世代育成支援対策推進法施行以後、当行が取組んできた従業員に対する各種の育児支援策などが評価され、当行は**千葉県における第1号の認定企業**となっております。これまでに認定を3回取得しました。



より便利に、安心してご利用いただくために

ちば興銀では「電話de詐欺」の被害が深刻化する中、千葉県・千葉県警察と連携し、被害の未然防止対策を推進し、お客さまの大切な預金をお守りするため、さまざまな取組みを行っております。

振り込め詐欺防止等撲滅強化推進期間【平成28年10月】

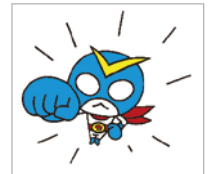
全国銀行協会が定める「振り込め詐欺防止等撲滅強化推進期間」にあわせ、ミニチラシを千葉県内全店の窓口やATM等で配布し、注意を呼びかけました。



「STOP! 電話de詐欺」キャンペーン実施【平成28年6月】

千葉県・千葉県警察と連携して「STOP! 電話de詐欺」キャンペーンを実施しました。

また、当行の口座で年金をお受け取りいただいているお客さまは、当行ATMを操作した際に注意喚起画面が一定期間表示されるようになっております。



確認戦士カクニンダー
千葉県・電話de詐欺防止キャラクター

「ちば興銀コスモスWEBサービス」のセキュリティ強化【平成28年8月】

法人向けインターネットバンキングサービスのセキュリティ対策のひとつである「ワンタイムパスワード」について、ハードウェアトークンの取扱いを開始いたしました。

「ワンタイムパスワード」

一度だけ有効な使い捨てのパスワードで、60秒ごとに変更されるため、不正に取得したID・パスワードによるなりすましの操作を防ぎ、インターネットバンキングをより安全にご利用いただけます。

ワンタイムパスワードをご利用になる場合には、ソフトウェアトークンまたはハードウェアトークンのどちらかをお選びいただき、お申込みが必要です。

ソフトウェアトークン	ハードウェアトークン
スマートフォン・携帯電話に専用アプリをダウンロードして、ワンタイムパスワードを表示させる仕組みです。 1台のスマートフォンで、複数のユーザ様にご利用いただけます。 1台の携帯電話では1名のユーザ様のご利用となります。	キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機で、液晶画面にワンタイムパスワードが表示されます。 1つのハードウェアトークンで、複数のユーザ様にご利用いただけます。

フィデューシャリー・デューティー^(※2)に関する取組み【平成28年10月】

当行は、お客さまの利益に真にかなう商品・サービスを提供し、お客さまから最も信頼される銀行であり続けるべく、平成28年10月、資産運用関連業務に関する「フィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」を策定・公表いたしました。

これに伴い、同じく10月には外貨建て保険や市場価格調整機能付き保険など、価格変動リスクを抱える保険商品を対象に、生命保険を販売した際に保険会社から受け取る手数料を、お客さまに開示しております。

これからも当行は、お客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

(※2)フィデューシャリー・デューティー…他者の信任に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広いさまざまな役割・責任の総称

さらに快適で機能的な店舗へ

さらにご利用いただきやすく、快適で機能的な店舗をめざし、店舗の新築移転、リニューアル等をすすめております。

松戸支店・リニューアル【平成28年11月】

平成28年11月21日、新店舗での営業を開始いたしました。

店舗内ATM全台に指静脈認証機能と、目の不自由なお客さまに配慮したハンドセットを備えております。

365日・夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫」300箱を設置し、セミナールームも用意いたしました。

また従来よりも駐車可能台数を増やし、さらにお立ち寄りいただきやすい店舗となっております。



四街道支店・新築移転【平成28年8月】

平成28年8月、イトーヨーカドー四街道店(四街道市中央5番地)敷地内に、新築移転いたしました。

駐車場はイトーヨーカドー四街道店との共同利用となり、お買い物とあわせてご利用いただけます。

さらに、夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫(365日稼働)」や、さまざまな金融情報を発信する「セミナールーム」も設けております。



梅郷支店・リニューアル【平成29年2月6日予定】

仮店舗にて営業中はお客さまに何かとご不便をおかけいたしましたがおかげさまで平成29年2月、リニューアルオープンいたします。

車いすや小さなお子さま連れのお客さまでも安心してご利用いただけるよう広く快適なロビーと、ゆっくりご相談いただけるローカウンター4席を用意いたしました。

店舗内ATM全台に指静脈認証機能と、ハンドセットも備えており、これまで以上に多くのお客さまにご利用いただきやすい店舗となる予定です。



ちば興銀で開催！支店長講師による「資産運用セミナー」

普段なかなかお会いすることのない地域のお客さまと接点を持ちたい…そんな想いからはじめた支店長による「資産運用セミナー」ですが、好評につき第2回目を実施しました。

ちば興銀の支店長が自ら講師となり、最新の国内外の経済動向やマーケット環境についてご説明をいたしました。

ちば興銀はこれからも地域密着型金融を積極的に推進し、地域の皆さまに役立つ情報を発信し続けてまいります。



CSRの取り組み 地域社会・地域経済への貢献

ちば興銀マッチデー「CKB SUMMER FESTIVAL'16」



毎年行っているちば興銀マッチデーとして、「CKB SUMMER FESTIVAL'16」を開催いたしました。

「音楽」をテーマに、先着2万名さまにギター柄オリジナルうちわを配布いたしました。

ちば興銀ブースでは、選手のサインボールなどが当たるさまざまなイベントを開催し、大変な盛況となりました。



金融教育活動

地域経済の将来を担う児童や学生の金融教育に携わり、普及活動に取り組んでまいります。



「エコノミクス甲子園」千葉大会

金融知力普及協会が主催する全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の千葉大会(当行と千葉銀行の共催)を開催



文化・スポーツ活動

地域の文化活動やスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。



千葉興業銀行杯 親善ゲートボール大会

千葉県ゲートボール連盟との共催により、26年連続で開催
平成28年度は、青葉の森陸上競技場で実施



ちば興銀は、地域とともに歩む銀行として、これからもさまざまな活動を通して地域社会・地域経済へ貢献してまいります。

「ちばアクアラインマラソン2016」に協賛



「ちばアクアラインマラソン2016」にオフィシャルスポンサーとして協賛いたしました。

県内はもとより全国から参加したランナーの皆さまをおもてなしするため、当行行員・スタッフ106名がボランティアスタッフとして参加、給水所の対応など大会運営をサポートいたしました。



環境への取組み

環境の保全と美化に努め、千葉県豊かな自然環境を未来に引継いでいくための活動を行っております。



ちば興銀の森

匝瑳市新堀海岸県有林の再生をめざして、平成26年より5年間で5,000本の植栽や草刈による海岸保有林再生活動を展開



社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と健全な育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。



「小さな親切」運動の推進

全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部(代表 青柳俊一頭取)を担う熊本地震における被災者支援のための募金活動を実施



企業理念

—— 地域とともに ——

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

—— お客さまのために ——

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

—— 「親切」の心で ——

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

〈REPORT2016 千葉興業銀行中間ディスクロージャー誌〉

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。このうち、財務データ(財務諸表等の諸資料)および自己資本の充実の状況等について(自己資本比率規制第3の柱(市場規律)に基づく開示)は、別冊に記載しています。

本誌に掲載の諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

〈別冊のご案内〉

銀行法施行規則第19条の2および19条の3、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条に基づく開示事項に関して別冊を作成しています。



 千葉興業銀行

〒261-0001
千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
TEL.043-243-2111
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>